

ミン フイ 明慧ダイジェスト

JP.MINGHUI.ORG

第7号 2023年10月24日

「真・善・忍の実践は人間らしい生き方」 豪市議会議員

オーストラリアの法輪功学習者（以下、学習者）は9月24日、シドニーにあるキャッスル・ヒル・ショーグラウンドで開催された「メイトシップ・フェア 2023」に参加し、法輪功の和やかな5式の功法を実演した。多くの人が法輪功に興味を持ち、その場で法輪功を体験し、さらにより多くの情報を知りたいと語った。

今回のイベントを開催したシドニー・コミュニティグループは、多元文化団体を表彰し、地元市民と他のコミュニティとの間の支援と友情を表すことを主旨としている。

真・善・忍の実践は人間らしい生き方

Crスリーニ・ピラマリ氏は、ニューサウスウェールズ州の治



■舞台上で第二式の功法を実演

安判事（軽微な事件を扱い、重大事件の予審も行う裁判官）であり、ホーンズビー・シャイア市議会議員でもある。同氏は法輪功

を支持し「法輪功の修煉は、人々の精神的成長にとって重要です。その教え、実践、そして熱意は世界中のあらゆる人々に受け

入れられるべきです。彼らはまた、とても自制心が強いのです」と述べた。

ピラマリ氏は、「真・善・忍」という普遍的な価値観

を称賛している。「私たちが共に生きるには、思いやりが必要です。誰もが思いやりを理解し、調和して暮らせることを願っています。それはすべての人のためのものです。これが人間の生き方なのです」

学習者は5式の功法の他にも、伝統的な舞踊や音楽のパフォーマンスを披露した。

マリア・メネゼスさんはメルボルンから来場した。彼女は学習者の功法の実演が大好きだと言い、学習者の動作を見ながら煉功を体験してみた。そして、「私たちは忙しい生活の中で、時間がほとんどありませんが、このようなことをするために少し時間を取ることは、体に良く、悩みを解決してくれます。良い習慣ですし、エネルギーを感じます」と言った。

広島「水辺のコンサート」に参加 気功・演奏・朗読を披露

広島の法輪功学習者（以下、学習者）は9月24日、広島市主催の「水辺のコンサート」に参加した。同コンサートで学習者は法輪功の功法を実演し、音楽・朗読などのパフォーマンスを披露した。

広島市ではまちづくりの一環として、20年前から週末に定期的に「水辺のコンサート」が開催されている。市民の芸術文化活動を促進するとともに、水辺における都市の楽しみ方を創出することを目的としている。舞台は平和公園にある原爆ドームの傍らを通る川に向かい側の水辺にあることから、「水辺のコンサート」は広く知られるようになったばかりでなく「水の都」広島の独特の風物詩となっている。

秋晴れの水辺で心地よいひととき

コンサート当日は、連日の高温から一転、爽やかな秋の天気になって過ごしやすい気温に

恵まれ、国内外から多くの観光客が広島平和公園を訪れた。

法輪功チームは五式の功法を実演した後、中国の腰太鼓の演奏、二胡独奏の「得度」を披露し、イラスト付きの物語「素晴らしいお米」を朗読した。

観客の中には、煉功動作を真似たり、ビデオや写真で撮影したり、受け取った各資料をすぐに読んだり、法輪功への興味を示した人もいた。観客は「煉功の体験は、とても気持ち良かったです」、「学習者の演技は素晴らしいです」と語った。

「とても素晴らしいステージ！」

オランダから訪れていたエドゥアルドさんは、学習者から法輪功の紹介を聞いて「オランダでも、法輪功について聞いたことがあります。中国共産党に迫害されていることも知っています。人間にとって最も重要なのは、信仰の自由です」と語った。



■イラスト付きの物語「素晴らしいお米」を朗読する法輪功学習者

エドゥアルドさんは、学習者の出演を席でずっと待っていたという。「私は、最初から最後まで観ていました」。パフォーマンス終了後、エドゥアルドさんは親指を立ててこう言っ

た。「とても素晴らしいステージでした！」。そしてエドゥアルドさんは、学習者たちと記念撮影した。

シンガーソングライター「会社員みかん」さんも最

初から最後まで煉功を真似しながら、体験していた。そして、「今日の演技は、みんな素晴らしかったですね！ 煉功を学んでいる間、とても気持ち良かったです」と語った。

インド中部の15校 教師・生徒が法輪功の功法を学ぶ



■煉功動作を学ぶジンデ校長と生徒たち

インド中部のナーグプルに住む法輪功学習者（以下、学習者）は、新学期を迎えた7月から9月にかけて、ナーグプルの13校とワルダ近郊の2校の合計15校

を訪れ、数千人の学生と教師に、法輪功の五式の功法を無料で教えた。

法輪功で心身ともにリラックス

7月25日、ナグプールのアナンド・ジャイスワル小学校で、90人以上の生徒と教職員が功法を学んだ。生徒からは、法輪功の修煉を「続けたい」という声が上がった。

8月7日、サルバシュリ高校では、全校生徒が中庭に集まって煉功を学んだ。法輪功のゆったりとした心を癒す功法は、大学受験を控えた上級生のストレス緩和に役立ったという。

数週間後の8月26日、ヘマント・ジャカテ高校1年生のある生徒は煉功中にエネルギーを感じ、学習者に感謝した。

各学校の校長が法輪功の学習を推奨

8月5日、ナヴバラット高校のナグルワル校長は「この功法は生徒たちの集中力を高めるだけでなく、人格形成にも役立ちます」「私たちの人生には、確実に真・善・忍が必要なのです」と述べた。

同校長はまた、生徒全員に法輪功のウェブサイト教材をダウンロードし、毎日自分で煉功するように提案した。そして学習者は、学校の図書館に法輪大法の書籍『轉法輪』を寄贈した。

8月11日、ワーダ市のオックスフォード・スクール・アンド・ジュニア・カレッジのジンデ校長が学習者を招いた。この日、およそ450人の生徒と50人の教職員が煉功の動作を学んだ。ジンデ校長はとても喜び、「生徒たちに定期的に（法輪）大法を学ばせ、煉功させたい」と語った。

9月8日、レヌカー学院の生徒と職員は、1時間の授業で五式の功法を学び、とても素晴らしいと感じた。多くの生徒が、法輪功の書籍はどこで手に入るかを尋ね、自分で煉功を学んでみたいと話した。

ポスター展・上映会 埼玉県で開催

埼玉県朝霞市の産業文化センターで9月29日から10月1日まで、中国共産党（以下、中共）による生体臓器収奪を阻止すべくポスター展が開催された。主催は「移植ツーリズムを考える会」。そして最終日には、法輪功学習者（以下、学習者）に対する臓器収奪を暴いたドキュメンタリー映画「ヒューマン・ハーベスト」の上映会と質疑応答が

行われた。ポスターや映画を観た人々は、中共に対して深い認識を持つようになり、同時に法輪功についてさらに知りたいと語った。

真相を知った観客は真剣な面持ちで、中には涙を流す人もいた。現代社会でこれほど残酷な暴行があることに、多くの人がショックを受けていた。ある50代の女性は「このような事態を何も知りませんでした。つ

らすぎます。ショックで言葉を失いました」と語った。そして涙ながらに「私に何ができますか」と現場のスタッフに尋ねた。

現場のスタッフは「私たちはこうして活動しているのは、より多くの善良な日本人が真実を知り、知らないうちに中共に加担してしまわないようにするためです。同時に、日本もこの悪行を阻止するよう、（不当な移植ツーリズムを禁止する）法律を制定できるように願っています。現在、一部の地方議会では（必要な法律の制定等を求

める）意見書を国会に提出する決議が採択されています。私たちは、もっと多くの日本人々に応援してほしいです」と答えた。彼女はこれを聞いて、友人にも見た内容を伝え、次のイベントには友人を連れてくるつもりだと述べた。

地元の40代の女性は、高校に通う娘を連れてポスター展を訪れた。鑑賞後、次のような感想を残した。「強烈なインパクトのチラシが自宅のポストに入っていて、今回の展示を知りました。『沈黙は抑圧する側と同じことを意味する』という一文を読み、まず知らなくてはならないと思って足を運びました。とてもショックを受けていますが、貴重な機会を頂きました。

次回、同様のイベントがあれば友人を誘うつもりです」

上映会の参加者からは「中共が独裁政権であることは知っていましたが、こんなに邪悪で生きた人体の臓器を摘出し、それを売買して金儲けするとは考えもしませんでした」、「これは人間の行為ではありません」といった声が上がった。

また、2人の女性は法輪功を学びたいと言い、詳細を尋ねた。そして質疑応答が終わると、多くの人が法輪功に関する資料を求めた。ある60代の男性は「法輪功に興味があります。帰宅してじっくりと資料を読みたいと思います。どこで修煉できるか教えてもらえますか?」と尋ねた。

イスタンブールで法輪功紹介

トルコの法輪功学習者（以下、学習者）は9月、法輪功について人々に紹介した。同時に、中国共産党（以下、中共）から残酷な迫害を受けている事実も伝えた。

ある若い学生は「真・善・忍の理念は世界各地に広まるべきであり、世界中のすべての人々が平和で、安全な環境で暮らせることを望んでいます」と話し

た。別の人からは、「中国で起きている迫害は、（本来は）誰もが経験する必要のないことで、とても酷くて、悲しいです」とのコメントもあった。

エコライフセンターで功法を紹介

9月9日、カドゥキョイにあるエコライフセンターで、心身を鍛える気功修煉「法輪功」を紹介した。

多くの人が五式の功法を体験し、法輪功についてもっと深く理解したいと語った。

音楽を通じて真相を伝える

サンタ・マリア・ドラペリス・ラテンカトリック教会はイスタンブールで最も古い教会の一つで、1584年に建てられた。9月に学習者はここでコンサートを開催した。

トルコの有名なピアニスト・作曲家で、国際舞台で幾度となく演奏してきたハカン・アリ・トーカーさんとその家族もコンサートに参加した。トーカーさんは「現在、法輪功を知っている人は少なく、音楽を通じて法輪功を伝えることは良いことです。コンサートで



■最終日の『ヒューマン・ハーベスト』の上映会

伝えたメッセージは、非常に貴重です」と語った。

海辺で法輪功と出会う

9月24日、学習者はイスタンブールの中国領事館の向かいの海岸で、中共が法輪功を迫害している事実を人々に伝え、注目を集めた。

通りすがりの若い男性が、迫害されている実態について女性に話していた。学習者がそれを

聞いて「法輪功についてとてもよく知っていますね、素晴らしいです。先ほど話されたことは正しく、本当のことです」と青年に伝えた。その青年は「私は、中国領事館の向かいに住んでいます。皆さんが長年にわたって中国領事館に向かって活動されてきたのを見てきました。私は資料を受け取って読みました。このことを他の人にも伝えていきますよ」と語った。



■法輪功の功法を体験する人々

たくさんの人に教えたい 筋萎縮症が良くなった理由を

私は今年76歳です。私が筋萎縮症になったのは、10年前のことです。

当時、スポーツクラブに行っていました。足を痛めてリハビリに通っていました。リハビリで良くなったので、明日からは行かなくていいと思っていました。ところが突然、両手両足が動かなくなったので、すぐにリハビリの先生のところに行きました。すると、大きな病院を紹介しなると言われて、その病院



■大島さん（ご本人）

へ行きました。診てもらった時間は、2〜3分くらいだと思えます。

先生は「筋萎縮症です。薬はありません。死ぬのを待つだけです」と言い、その後は何も言いませんでした。私はリハビリの先生の所に戻り、「『筋萎縮症で薬はありません。ただ、死ぬのを待つしかありません』と紹介された病院の医師から言われました」と言うと、「それでもリハビリには来なさい」と言ってくれました。

それから何回か、リハビリの先生の所へ行きましたが、主人が「民間で治せる所があるかもしれない」と言って、あちこちの民間の治療に連れて行ってくれました。でも、診てくれる先生には「私には、治せる自

信がありません！」と断られました。

それから、ベッドで8ヶ月寝たきりになったままで、要介護4と認定されました。掃除をしてくれる人、ご飯を作ってくれる人に来てもらって、ベッドの生活をしていました。朝はいつも、主人が私を座らせようと、首を持って起こしてくれます。ある日、主人の顔を見ていると、主人の顔色が黄色くなっていました。私がこのままだと、私は主人の命を奪い取ってしまうと直感しました。

そこで、3年前に入っていた「法輪功」のチラシを見て、電話しました。すると、すぐ教えに来てくれました。そして、「『法輪功』の本を読みましょう」と言われ、私は主人に椅子に座らせてもらいました。

書籍『法輪功』を3時間読みました。そして、その方を主人が駅まで送って帰って来たとき、私はすでに左腕を動かすことができたのです。

何のお礼もいらないなんて！

それから、また1週間後に教えてに来てくれて、3時間本を読みました。すると主人が駅まで送って帰ってきた時、私の右腕は動かせるようになりました。3回目、また3時間本を読みました。今度は左足が立てるようになり、4回目は、右足が立てるようになりました。そして5回目は、両足で立つ事ができました。6回目には「静功（座禅）しましょう」と言われ、足を伸ばしたままで静功ができました。その後、段差のない所で歩けるようになりました。

7回目には、台所に10〜15分立てるようになりました。

た。8回目には、家の中を大分歩けるようになりました。9回目には、外に出て歩いてみました。10回目には、まだ段差は無理でしたが、平地は歩けるようになりました。

どんどん良くなっている。家に10回も教えてに来てくれたお礼をどうすればよいか伺ったところ、「無料です」との返事でした。私は驚きました。何のお礼もいらないなんて、とびっくりしたことを覚えています。法輪功に感謝、感謝、感謝。

もし、法輪功に出会わなかったら、私はこの世にはもう存在していなかったでしょう。当時、そこまで覚悟をしていました。本当に、救われました。今は、こんなに素晴らしい法輪功を、たくさんの人に伝えるのが私の使命だと思っています。1人でも2人でも、何人でも教えてあげたいです。

人生の意味を見つけた農家

台湾の宜蘭出身の呉慶中（ウー・チンチュン）さんは、ビジネスで成功して裕福になりました。そして、銀ヤナギを植え、国際コンクールで優勝しました。呉さんは、台湾から銀ヤナギを日本とオランダに輸出している唯一の農家で、幾多の賞を受賞しました。呉さんは、その秘訣は全て『轉法輪』から教わったと言います。

起業して成功したが、体調が悪化

もともと呉さんは才能あふれる子供で、家族は大きな期待を寄せていました。高校卒業後、キャリアの方向性を探すために台北に行った呉さんは、飲料市場にビジネスチャンスがあると気づきました。そして1990年、25歳の時に初めて1000万台湾ドル（約4600万円）を稼いだのです。

しかし、この成功が幸福や喜びをもたらすことはありませんでした。ストレスと激務が原因で、呉さんは30歳の時に重い病気を患ったのです。

「私が30歳のとき、毎日何千箱ものドリンクを配達して

いたため、姿勢の悪さと仕事のプレッシャーにより、突然、腰の痛みが続くようになりました。医者は坐骨神経痛だと言いました。動くたびに腰が痛くなり、何もできなくなりました。私は数え切れないほどの医師を訪ねましたが、全く解決できませんでした。本当に心が折れてしまいました」と呉さんは当時を振り返ります。

さらに坐骨神経痛に加えて、長年悩まされていたアトピー性皮膚炎が状況を悪化させました。かゆみと痛みで落ち着きません。「漢方薬、鍼治療、民間療法、理学療法など、あらゆることを試しました」

呉さんがどん底にいたとき、親友の林崇祺さんが心躍るニュースをもたらしてくれました。

人生を変えた出会い

呉さんは林さんと一緒に、スピリチュアル・ヒーリング・グループに参加しました。ある日、林さんが興奮した様子でこう言いました。「同じクラスの人が発するエ

ネルギーの波動があまりにも強くて、先生ですら、その人に近づこうとしなかったんだ。そしてその人は『法輪大法という修煉法に出会ったばかりです』と言ったんだ」

1997年6月、呉さんと林さんは地元の「法輪功9日間セミナー」に参加しました。呉さんは「生涯にわたる疑問がすべて解決されました。体全体が突然明るくなったように感じました」と当時を振り返ります。医者ですら治すことができなかった症状から徐々に回復し、再び荷物の配送ができるようになったのです。

親友の林さんも、法輪功を学び始めて間もなくして、うつ病や神経衰弱、長期の不眠症、重度の便秘が薬なしで治ったのです。2人は、地元住民に法輪功を紹介しました。その結果、2年間で100人以上が学び始めたそうです。

模範的な農家

呉さんは、「法輪功には、どんなことも真剣に取り込むようにと教わりました」と言います。呉さんは農業を始めの前に、種子がどのようにし



■呉慶中さん（左から2人目）

てなぜ発芽するのかを調べました。なぜあの時期には咲かず、この時期に咲くのだろうか？ とてもシンプルなことで、基礎から学びました。その後、驚くべきことが起こりました。法輪功の本を読み続けるうちに、植物のことが理解できるようになったのです。『轉法輪』に、農業の知識と奥見を見つけました。

「法輪功では、植物には感情があると本の中で説いています。そこで私も、植物を大切な存在として扱います。植物の前で悪口を言わず、誠実に優しく扱うことを妻と約束しました。植物に敬意を持って扱おうと、植物は繁殖するのです」

呉さんは果物や米、黒豆の植え付けを始めました。周囲には「私たちが行うことは、すべて他の人にも利益をもたらすべきです」と話しました。植物や生態系にダメージを与えず、近隣の水田にも悪影響を与えない有機農法を採用しました。他の農家からアドバイスを求められたときは、栽培方法も教えています。

法輪功を始めた呉さんは、家族に何かトラブルがあると、まず自分の何が悪いのかを内に向けて探します。すると家族の雰囲気もどんどん良くなっていききました。やがて妻も両親も、子供たちも法輪功を学び始めました。

専門チームの調査結果、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学

習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3カ月から2~3年という期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

多くの人が実感した不可思議な現象

一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、

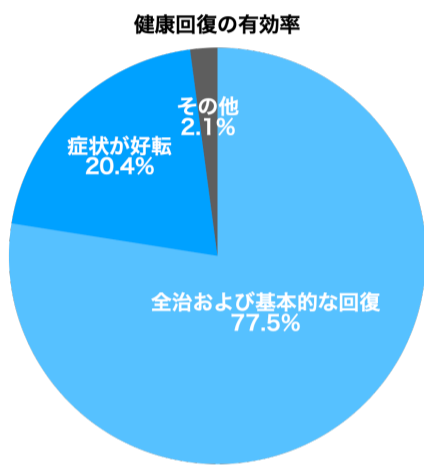
あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

三、不治の病も回復

学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

四、若返り

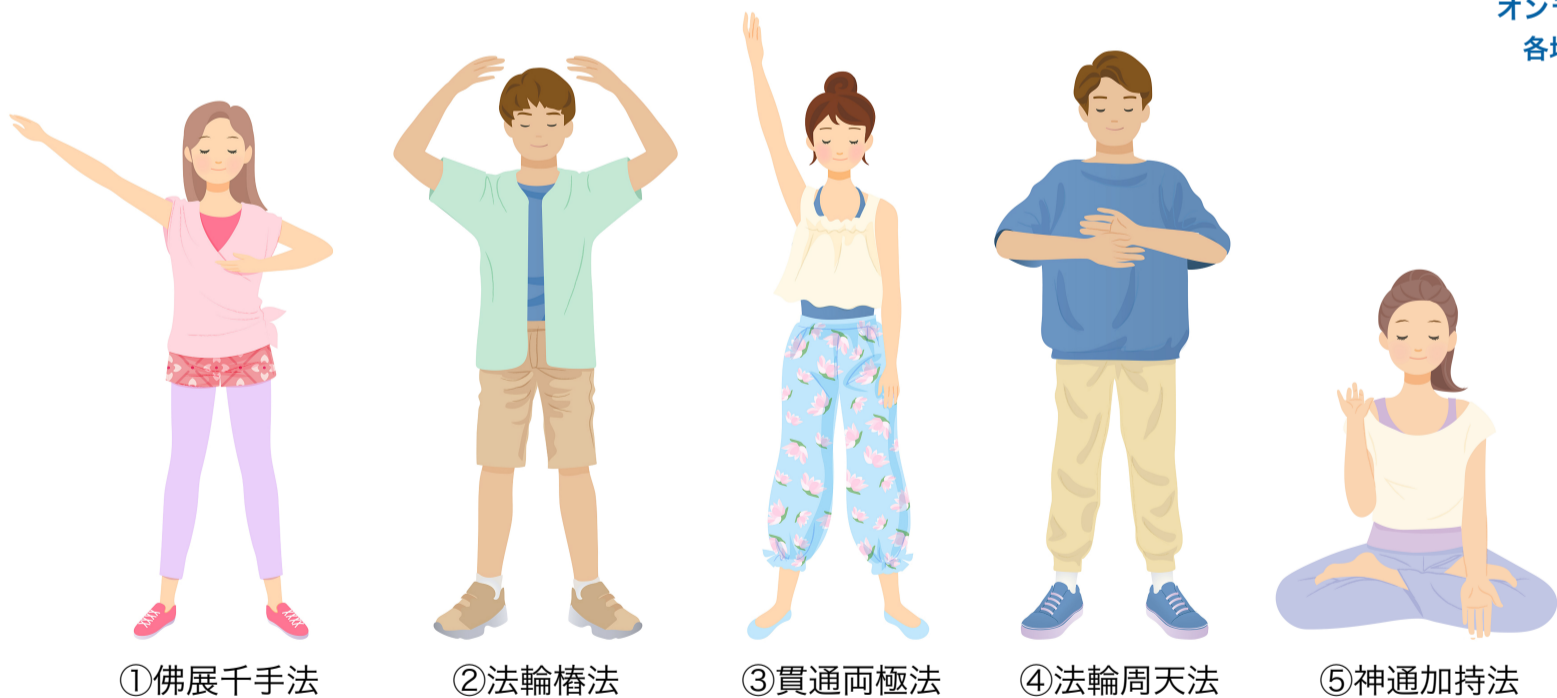
病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



心と体を鍛える法輪功 5セットのエクササイズ



オンラインレッスン
各地の気功教室



①佛展千手法

②法輪椿法

③貫通両極法

④法輪周天法

⑤神通加持法



『法輪功』（ファールンゴン）

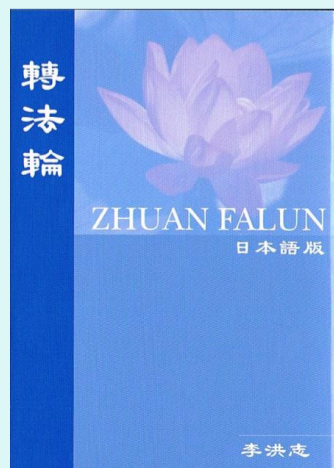
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

10人の法輪功学習者が迫害により死亡

9月に判明

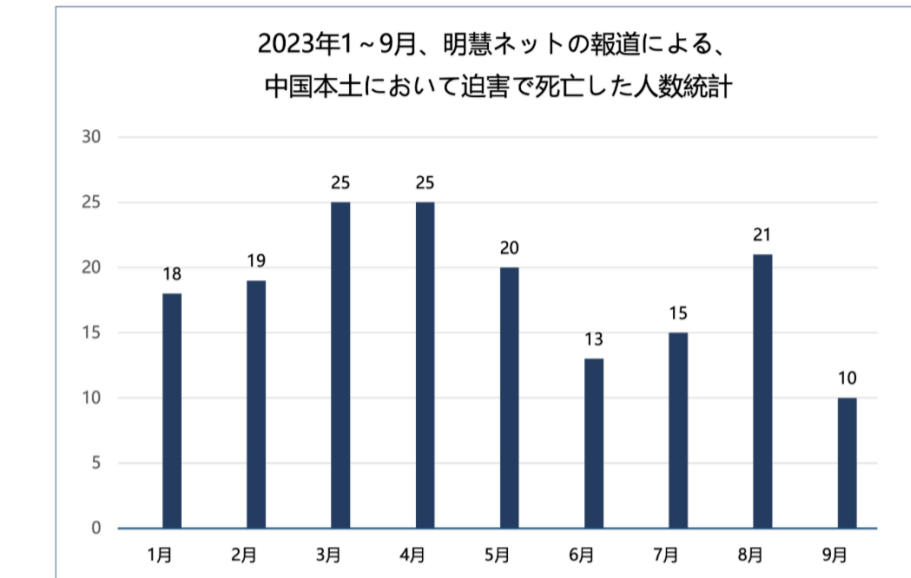
中国共産党（以下、中共）は、真・善・忍を実践する法輪功学習者（以下、学習者）に対して、故・江沢民の「肉体を消滅させ、名誉を毀損し、経済を破綻させる」、「死んでも責任を負わず、殴り殺したら自殺とみなし、身元を問わず直接火葬せよ」というジェノサイドの迫害政策を一貫して実行してきた。明慧ネットの報道統計によると、10人の学習者が迫害によって死亡したことが今年9月に判明した（湖北省2人、内モンゴル2人、吉林省、広東省、江蘇省、遼寧省、陝西省、四川省においてそれぞれ1人）。

これらの学習者の中には、中共から長期にわたって嫌がらせや迫害を受け、不当な連行と判決、労働教養処分、洗脳センターでの拷問、薬物投与等といった迫害を受けた者もいる。

明慧ネットの報道統計によると、2023年1月から9月まで、合計166人の学習者が迫害により死亡したと判明した。以下は、その実態の一部である。

成都市の魏永清さんに懲役5年の判決、迫害により死亡

魏永清さん（83歳男性）は成都市の出身、四川省工業学院機械科の元アシスタントエンジニアであった。1999年7.20日に中共が法輪功を迫害し始めてから、成都九茹村留置場、新津洗脳班（外部に



「法制教育センター」と称する）、成都市留置場、樂山嘉州刑務所などに拘禁されたことがある。2018年5月に懲役5年の不当な判決を宣告され、当初78歳の魏さんは樂山嘉州刑務所に拘禁された。その間、魏さんはさまざまな拷問を受けたという。

魏さんは刑務所で炎天下に臀部が爛れるほど長時間座られ、電気スタンガンで何度も電気ショックを受け、唐辛子スプレーを目に吹きかけられた。そして秒単位でご飯を食べさせられた（「秒飯」）。「秒飯」とは、厳重に管理される

囚人に、朝は米のスープを2口しか飲ませず、昼と夕方は15秒で食事を終えることを要求されるもの。「秒飯」の経験者によると、急ぐために、米を飲み込む前に口の中で咀嚼することができなかったという。通常、囚人への「秒飯」期間は3日から15日間であるが、学習者の場合は無期限に延長できる。

2023年に刑期が満了したとき、魏さんはすでに83歳であった。身体が弱り表情も乏しく、排泄のタイミングをコントロールできなくなった。年金を不当に取り上げられたため、生計を立てるあて

がなく、数年前は自宅を学生に貸して生活していた。家も失った夫婦は田舎の自宅に戻らざるを得なかったが、そこでも村の幹部たちに監視されていた。8月下旬のある日、魏さんはうっかり転倒し、緊急治療のために病院に運ばれたが、8月29日に息を引き取った。

吉林市の趙旭東さんが死亡

趙旭東さん（78歳男性）は、吉林市出身。趙さん一家は迫害で一家離散となった。趙さんは長年、中共の関係者から嫌がらせを受け、身柄を拘束され、不当な判決を宣

告されるなどの迫害を受けた。心身ともに多大なダメージを受け、2023年8月の初めに死亡した。

趙さん一家4人は2000年10月6日、法輪功の無実を伝えるために上京した際に身柄を拘束され、労働教養処分を科された。

趙さんの妻・李艶さんは拘禁、放浪生活、洗脳班、労働教養、電撃などの迫害を受け、心身とも大きなダメージを受けたことで、2012年2月5日に死亡していた。

息子の趙国興さんは2007年2月12日に身柄を拘束され、懲役10年の不当な判決を宣告された。吉林省公主嶺刑務所で殴打や電撃、手枷、小さい腰掛けに座らせる、わさびオイルを飲ませる、灌食、独房に閉じ込めるなどの拷問を受けた。

娘の趙国坤さんは2023年7月18日、昌邑区検察庁から起訴状、量刑建議書、裁判所による居住監視決定書を受け取った。



■趙旭東さん

70代女性に懲役8年の不当判決、家族との面会も禁止

河北省唐山市の法輪功学習者（以下、学習者）・王瑞玲さん（71歳女性）は2021年に不当に8年の実刑判決を言い渡され、同年4月15日に河北省女子刑務所に拘禁された。王さんはずっと転向（法輪功の修煉を放棄）を拒否しているため、家族との面会を禁止されて



いる。家族が刑務所側に面会を求めても、「転向しない限り面会は許可しない」との回答だった。

家族が王さんを見たのは、まだ法廷で傍聴が許されていた時だった。明慧ネット（中国語版）2022年6月18日の報道では、王さんは石家荘女子刑務所第13監獄区に拘禁され、毎日、朝、昼、夜と殴打され、部屋の中は常に血が飛び散っていたという。また王さんは内容不明な薬を飲まなかったため、刑務官に殴られ、多くの歯を失った。

王さんは、遵化市の堡子店鎮北嶺村の住人である。2019年7月6日の早朝、王

さんと夫の馬拡さんは自宅から警官らに不当に連行され、家宅捜索を受けた。そしてノートパソコン4台、プリンター、現金（金額は不明）、法輪大法の書籍、A4コピー用紙などを含め自宅にあったものは全て押収された。さらには自動車までもが押収された。その後、王さんは唐山市第一留置場に不当に拘留され、夫の馬拡さんも遵化市留置場に不当に拘留された。

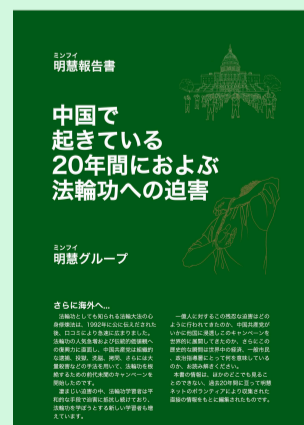
同じ頃、遵化の複数の村で19人の学習者も警察による不当な連行と家宅捜索を受けた。

2019年12月17日、19日、23日に遵化市裁判所は王さ

ん夫婦を含めて12人の学習者について開廷し、それぞれ不当に2～8年の刑、2000元から

1万円の罰金を科した（王さんには懲役8年、夫の馬拡さんには懲役5年の判決）。

書籍『明慧二十周年報告書』



過去20年間、中国本土の法輪功学習者が直面してきた迫害状況の記録。

中国共産党が他国の指導者や企業を脅迫することにより、海外まで迫害の手を拡大してきた実態が記されている。

PDFファイル、全333ページ
無料ダウンロードはこちら



米国会議員、不当拘束された孔慶平さんの即時釈放を求める

政策・運営委員会の共同議長であるバーバラ・リー米下院議員（カリフォルニア州、民主党）は9月29日、ブリンケン國務長官に書簡を送り、法輪功学習者の孔慶平さんが中国共産党（以下、中共）に不当に拘束されている事件に深い憂慮を示した。そして同國務長官に対し、最も強い言葉で孔さんの即時釈放を中共に要請するよう求めている。以下は、その書簡の全訳である。

「中共政府による孔慶平さんの拘束について、憂慮を表明すべく書簡をお送りします。私が有権者から受け取った情報によると、2022年10月22日、孔さんは中国遼寧省大

連市で不当に拘束され、現在、大連市の姚家拘置所に収容されています。そして、家族との面会は許されていません。

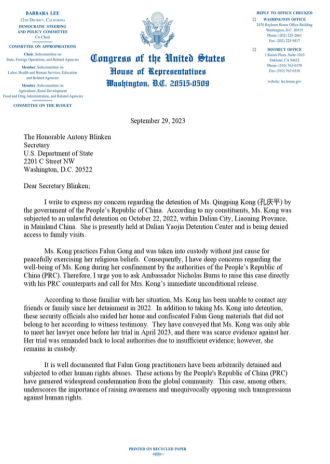
法輪功を修煉している孔慶平さんは、自らの信仰を平和的に実践しただけで不当に拘束されました。孔さんが中共当局に監禁されている間の健康状態について、深い懸念を抱いています。よって、ニコラス・バーズ駐中国大使に対し、この件を中国側に直接提起し、孔さんの即時かつ無条件の釈放を要請するよう強く求めます。

関係者によると、孔さんは2022年に拘束されて以来、友人や家族と一切連絡が取れな

い状態です。そして警官は孔さんを拘留しただけでなく、孔さんの自宅を家宅捜索し、法輪功の資料を押収しました。目撃者の証言によると、その資料は孔さんの所有物ではありません。孔さんは2023年4月に裁判の前に、弁護士と一度しか会っていません。そして、孔さんに不利な証拠はほとんどありませんでした。証拠不足のため、案件は再審のため地元当局に差し戻されましたが、孔さんは拘留されたままです。

法輪功学習者が恣意的に拘束され、人権が侵害されていることを示す十分な証拠があります。中共のこれらの行為

■バーバラ・リー下院議員と書簡



は、国際社会から広く非難されています。本件に対する認識を高め、このような人権侵害に対し反対姿勢を明確に示すことはとても重要です。私の要請を考慮いただくことに感謝します。中共当

局と大連市司法当局に連絡し、孔さんを直ちに釈放するよう、もっとも強い言葉で要請して頂ければ幸いです。

バーバラ・リー
アメリカ合衆国国会議員

フランスの市長「皆さんに感謝します」

フランスの法輪功学習者は9月24日、地中海に近いヴァール地方のサン・ポール・アン・フォレ市で開催された多文化フェスティバルに招待された。

多くの人々が法輪功のブースを訪れ、中国共産党（以下、中共）による法輪功学習者（以下、学習者）へ激しい迫害に衝撃を受けた。司会者がマイクを手に法輪功ブースを訪れると、学習者はマイクを借り、学習者から強制的に臓器を摘出する中共の犯罪を伝え、

迫害に反対する署名への協力を呼びかけた。

皆さんのしてくれたことに感謝

サン・ポール・アン・フォレ市長ニコラス・マーテル氏は法輪功のブースを訪れ、中共の法輪功に対する迫害について説明を受けた。市長はショックを受け、すぐに反迫害の嘆願書に署名した。

市長は「皆さんが話してくれた内容に、とても驚かされました。皆さんがここに来て、中共のひどい扱い

について人々に伝えてくれたことに感謝します」と述べた。そして「資料をしつかり読んで、他の人にメッセージを伝えます。皆さんのご尽力に改めて感謝します」と続けた。

多くの人々が署名し、迫害に関する資料を持ち帰った。そして「周りの人に伝えて、この情報を世界中に広める必要がある」と述べた。また、これらの情報についてインターネットに掲載したいと申し出る人もいた。

ナンシー市の協会デーに参加

また学習者は9月23日、ナンシー市のペピニエール公園で開催された協会デーにも参加した。法輪功のブースは混雑し、多くの人々が法輪功の修煉と理念、中共による学習者への迫害と臓器狩りの犯罪について理解した。

中国で学習者が受けている迫害と残酷さを知った人々は「この平和的な修煉がどうしてこれほどの迫害を受けるのか？」と尋ねずにはいられなかった。

ある女性は、思わず引き寄せられる魅力とエネルギーに

よって、法輪功のブースを訪れたという。多くの人々が法輪功の修煉に興味を持ち、精神面での効果について質問する人もいた。

法輪功の功法の説明を聞き、興味を示した人は、ブースの近くで法輪功の功法を体験した。



■ニコラス・マーテル市長

ドイツで中国の家族救出を呼びかけ メディアと市民が支援

9月23日、法輪功学習者（以下、学習者）はニュルンベルク市で活動を行った。学習者の丁楽斌さんは、中国の山東省（注：山東省はバイエルン州の友好都市）で不当に拘禁されている父親の救出を訴えた。

地元メディアの「カート・マガジン」がこの活動を前日に予告し、報道した。

メディアが父親の状況を詳細に報道

ドイツ在住の丁楽斌さんの父親は、中国で不当に逮

捕された。手紙やはがきを送ることで圧力をかけることができる。そうした救出活動のおかげで、母親は釈放されたという。

「カート・マガジン」の報道では、「ニュルンベルク市で9月23日に集会が開かれます。山東省の人権状況を伝え、救出活動への支援を求めます」と紹介した。そして、丁さんの「中国で不当に拘禁されている父親が自由を取り戻せるよう、ご協力をお願いします！」という呼びかけに言及している。

事件の背景については、「中国で生まれ、ドイツで11年間を過ごした丁楽斌さんは、法輪功を修煉しています。法輪功は1999年以来、中国共産党に

よって『国家の敵』と見なされています」と紹介された。

この発端は今年5月12日、山東省日照市に住む丁さんの両親（学習者）が不当に連行されたことである。なお、合わせて70人の学習者が連行されている。

両親が連行されて以来、丁さんは郵送マラソン活動（訳注：大勢の人々に伝えるために多くの手紙やメッセージを送る活動）を始めた。中国の駐ドイツ大使と日照市の党委員会書記には、抗議の手紙を送った。そして迅速な国際的支援のおかげで、母親は5月24日に帰宅できた（ただし未だ監視下にある）。

前市議会議員らの支援

9月23日、丁さんは救出活動への参加を呼びかけた。この活動には、支援する手紙に署名することも含まれていた。こうした手紙は、前述の市党委員会書記や中国駐ドイツ大使に送付された。

当日は多くの人々が応援の横断幕を持ち、写真撮影した。救出を支援し、丁さんの父親の解放を訴えた。支援を表明した人の中には、米国陸軍のショーン・レスペイドさん、ソフトウェアエンジニアのアンジェリーナ・ワイマーさん、前市議会議員のハイディ・シュワルツさんが含まれている。シュワルツさんは、知人の議員にも支持を呼びかけると語った。

■救出活動を支援する、米国陸軍のショーン・レスペイドさん



【神伝文化】 古人の婚姻観

北宋期の齊州（今の山東省一帯）に、名は劉庭式、名字は徳之という読書家がありました。彼は科挙に合格した後、密州の総判事を務めるようになりました。当時、密州の長官であった蘇東坡（そとうば）は彼を大いに称賛し、その人格を敬い重んじていました。

婚姻の約束

科挙の試験に合格する前、劉庭式は郷里で一般の女性と知り合い、婚姻の約束を交わしました。しかし、結納金はまだ納めていなかったため、正式なものではありませんでした。

その後、科挙に合格した劉庭式は晴れて官僚と

なり、名士からも認められ、前途洋々たるものとなりました。ところがその女性は大病を患い、両目とも失明してしまいました。女性の実家は田畑を耕す百姓の身分で貧しいため、劉家に縁談のことを持ち出すことができませんでした。

劉庭式にこう勧める友人もいました。「あの女性は、すでに両目を失明してしまいました。君自身の前途と将来の家庭のためにも、別の人を娶った方がいいでしょう。どうしてもあの家と婚姻関係を結びたいなら、彼女の妹を娶ればいいでしょう」

劉庭式の高尚な情操

劉庭式はこう答えました。「彼女と婚姻の約束を交わしたとき、私はすでに彼女に心を許しました。彼女は今、失明してしまいましたが、心は変わらなずきれいです。私が当初の約束に背いたら、私の心が悪くなったということになるでしょう。それに誰もが老いてゆくもので、妻が年を取り容色が衰えたからといって、若くて美しい女性に取り替えたりはしないでしょう？ 人は誠信を守らなければならず、心変わりがあってはなりません」

こうして、2人は結婚しました。結婚後、劉庭式はできる限り失明した妻の世話をし、夫婦仲むつ

まじく暮らし、数人の子供を儲けました。

蘇東坡は深く感動し、「劉庭式はまことに高尚な情操の持ち主だ！」と話しました。

家庭は国家と社会の礎石

家庭は、国家と社会の礎石です。この礎石が正しく据えられていれば、国と社会は安定し、強くなり、繁栄します。結婚は家庭の礎石です。この礎石が正しく据えられれば家庭は仲むつまじく、調和し、活気に満ち溢れます。そして、人の情操と品性もまた、夫婦関係の礎石です。夫も妻も誠実さ、優しさ、互いへの尊



敬と愛情を持って、はじめて幸せで円満な結婚生活を送ることができます。人は心性が高まれば、自ずと善良で誠意があり、正直で寛容になるのです。それこそがもっとも大切なのです。

善行を行い、徳を積むことが最良の「風水」

昔、ある中国の村人が家を建てたいと思い、風水の易者に見てもらいに行きました。自分が選んだ土地を見に行く途中、遠くから見ると、その上空にたくさんの鳥が飛んでいました。この人は風水の易者に「ひとまず、帰りましょう。あの土地の上空で鳥が怯えています。桃の木を摘んでいる子供がいるに違いありません。そこへ行って子供たちを驚かせて、子供が木から落ちたら大変です」と言いました。



すると易者は「風水を見るまでもありません。あなたの善なる心は、最良の風水です。どこで家を建てても、必ず順調です」と言いました。

昨今では、風水で幸運を求める人が多くなっています。ところが実は善行を行い、徳を積むことが最良の風水と言われている

です。善良な心と縁起が良い気は、相通じています。善行を行う人は神からの愛顧を賜ります。昔から「善行は百災なし、悪行は百害あって一利なし」と言われてきました。

風水の良い土地を学堂に寄付

北宋時代の有名な政治家、文学者である范仲淹（はんちゅうえん）は「岳陽樓記」の中で、「物事は喜ばず、自分を憐れまず」、「天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」という有名な言葉を残しています。子供の頃から良い人になり、良い宰相（さいしょう：総理大臣）になれなければ、良い医者になろうと志を立てました。范仲淹は佛法を信じており、清廉にして正直で、国民のことを我が子のように大切に、教育を重んじました。

ある日、范仲淹は住宅を買いました。風水の易者に見てもらくと、「ここに住むと、永遠に豊かになるでしょう」と言われました。

范仲淹は、子供たちが勉強できるように学堂（昔の学校）に住宅を寄付しました。そして「子孫後代が豊かな未来を手に入れた方がいいではありませんか」と言いました。

范仲淹の4人の息子はみな才能拔群で、役人としての昇進運も順調でした。范氏家の子孫後代は800年も繁栄してきました。それは范仲淹が徳を積むことで子孫に福をもたらしただけであり、その子孫はみな范仲淹の「天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」という家訓を履行したからです。

玉の帯を返還し運命を変えた

古代の人々は利益よりも義を重んじており、他人が困っている時は助けます。慈愛な心を持って福が来て、災いが消えてしまいます。まさに「相は心から生じる、境は心に随って転じる」ということです。

唐の時代、裴度（はいど：唐代の政治家）は高僧と出会い、乞食の運命だと言われました。そして1カ月後、高僧に再び会いました。しかし今度は、将来は宰相になると言われたのです。

裴度は「1か月前には餓死すると言ったのになぜですか」と聞きました。高僧は「あなたは良いことをしたから、不運が取り除かれ、運勢に転機が現れてきたのです」と答えました。

裴度は高僧と再び会う前に、貴重な玉の帯を拾いました。彼は、持ち主を待っていました。他の人は「自分の物にしたら」と言いましたが、彼は待ち続けました。ようやく持ち主が現れ、持ち主は金銭でお礼をしようとしたのですが、裴度は断りました。

このことで裴度は徳を積むことができ、その後、裴度は宰相になったのです。

洪水には目があり回り道をする

「善徳」は全ての福や福報の根源です。人は善行を行い、徳を積むことによって長生きし、豊かに繁栄し、平穩無事で幸福に恵まれるのです。

2020年8月中下旬、四川省は大雷雨に遭い、前代未聞の大洪水に見舞われました。岷江や大渡河、青衣江の水位は急上昇しました。川が合流するところには世界最大の石佛の楽山大佛があり、大佛の足が水没しました。

8月18日朝5時、楽山市青衣江に住む村民たちは、8時頃に洪水が川に到達するの、安全な場所に避難するようにと連絡を受けました。

やがて洪水が川岸に達し、村民の畑や家、養魚池も水没

しました。ある法輪功学習者（以下、学習者）は、家から30センチ先まで増水するのを見ました。そして家族全員が高台に避難し、洪水が引くのを待っていました。

午後4時、洪水は引きました。村民は戻って家の状況を確認しました。その学習者が家に戻ると、家の敷地内に浸水はなく、家の中には一滴の水も入っていませんでした。高い位置にある家も浸水していたのに、学習者の家には水が全然入っていませんでした。

洪水で養魚池まで水没したにもかかわらず、魚はのんびりと池で泳いでおり、学習者の兄は「本当に不思議です」と言いました。

佛法は無辺であり、人心には善悪、良し悪しがあり、天地には陰陽正負があります。人々は善念を持ち、善行を行い、心が穏やかで、品徳高尚で、向上する等の佛性が現れると、神が保護し、福が訪れるのです。人心が悪くなり、品行が卑しくなり、悪事を働き、癩癩（かんしゃく）を起し、嫉妬し、憎悪する等の魔性が自分の感情や行動を支配していると、それに伴う不幸が相次いで降りかかってくるのです。

写真特集



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ① 9月24日、カリフォルニア州オレンジ郡のファウンテンバレーで中秋のお祝い
- ② 9月17日、シドニー・カブラマッタ市のムーン・フェスティバルで、蓮の花を折りながら真・善・忍の大切さを学んだ親子
- ③ 9月17日、デラウェア大学キャンパスのイベントで法輪功を紹介。リーフレットを真剣に読む女性
- ④ 8月26日、チューリッヒのリマト川の側で煉功
- ⑤ 9月29日、インドネシア中部のジャワ州スマラン市で大規模な人文字が登場
- ⑥ 9月23日、ウクライナのキーウで第五式の功法を披露
- ⑦ 10月14日、ドイツ南部のメーアスブルクで、法輪功への迫害停止の署名に協力する市民

冊子『明慧インターナショナル特別号』



法輪功が中国で伝えだされた初期から、世界中に人気広がる現在までの状況を紹介。迫害制止を求めた勇気ある行動、世界各地からの声援などを掲載。

無料ダウンロード
PDFファイルの

